

高田開山親鸞聖人正統伝

良空述。正徳五年（一七一五年）。

国立国会図書館デジタルコレクションの佐々木月樵

編「親鸞伝叢書」所収より。

○私云、寶永四年丁亥七月十九日、信州善光寺願照院より専修寺へ指し上げたる記には、聖人戸隠山へ三七日ご参詣あり。熊笹の名號をあそばし、下向の時、善光寺に御参詣、南門のほとり堂照坊に日を経て御寄宿あり。毎日佛前に於て三經讀誦したまふ。歸御に臨んで、堂照坊請して申さく。此地の衆生化益の爲に御影をあそばし、こゝに残し置きたまへと。聖人暫く御辭退ありて、十字名號と戸隠山の熊笹名號とを堂照坊に賜ふ。願照坊は、願照院の先祖なれば、此二幅の寶物今に當院に傳_レ之云云。

註 国立国会図書館デジタルコレクション「親鸞伝叢

書」(DOI 10.11501/821948) 113 コマ目。